

南部市場環境モニタリング結果(平成26年度)

その1 (大気)

測定・分析機関：(株) 静環検査センター

項 目		測 定 結 果		規制基準 (数値以下)	処理目標値 (数値以下)	測定回数						
		上 半 期	下 半 期									
大気(ばい煙)	ダイオキシン類	市場内 (pg-TEQ/m ³) 【*1】	-	-	0.6 (環境基準)	—						
		焼却炉 1号 (ng-TEQ/m ³ N)			5	1						
		焼却炉 2号 (ng-TEQ/m ³ N)			—	—						
	硫黄酸化物	市場内 (ppm)			-	-	—	—				
		焼却炉 1号 (m ³ N/h) 【*2】					1.17 (K値)	—				
		焼却炉 2号 (m ³ N/h) 【*2】					—	—				
	塩化水素	市場内 (ppm)					-	-	—	—		
		焼却炉 1号 (mg/m ³ N)							700	—		
		焼却炉 2号 (mg/m ³ N)							—	—		
	ばいじん	市場内 (mg/m ³)							0.014	0.007	—	—
		ボイラー 1号 (g/m ³ N)							<0.005	<0.005	0.05	0.05
		ボイラー 2号 (g/m ³ N)							<0.005	<0.005		
		冷温水発生機 1号 (g/m ³ N)							(6月,9月) <0.005 【*4】	-		
		冷温水発生機 2号 (g/m ³ N)							(6月,9月) <0.005 【*4】			
		コージェネレーション 1号 (g/m ³ N)							<0.010	<0.010	0.04	0.04
		コージェネレーション 2号 (g/m ³ N)							<0.010	<0.010	0.15	0.05
		焼却炉 1号 (g/m ³ N)							-	-		
		焼却炉 2号 (g/m ³ N)										
窒素酸化物	市場内 (ppm)	0.027	0.024	—					—			
	ボイラー 1号 (ppm)	19	38	150					60			
	ボイラー 2号 (ppm)	15	27									
	冷温水発生機 1号 (ppm)	(6月) 22 (9月) 24 【*4】	-									
	冷温水発生機 2号 (ppm)	(6月) 22 (9月) 24 【*4】										
	コージェネレーション 1号 (ppm)	96	120	600	200							
	コージェネレーション 2号 (ppm)	44	120	250	200							
	焼却炉 1号 (ppm)	-	-									
	焼却炉 2号 (ppm)											

*1 大気中のダイオキシン類測定；年間平均値で基準値適否を評価するため、冬季測定後に最終評価。

*2 硫黄酸化物の規制基準値；基準値 (K値=1.17) 以下になるための硫黄酸化物濃度を記載【硫黄酸化物濃度(m³N/h)=K値(1.17)×(補正した排出口の高さ)²×1/1000】。
「補正した排出口の高さ」とは、焼却炉煙突の高さを測定時の排出ガス速度・量・温度により補正したもの。

*3 26年度における大気中のダイオキシン類・硫黄酸化物・塩化水素及び焼却炉の各測定項目；26年度は焼却炉の稼働を一時停止したため測定せず。

*4 26年度上半期の冷温水発生機各測定；冷温水発生機は夏季のみ稼働するため、上半期に2回測定。

南部市場環境モニタリング結果(平成26年度)

その2 (悪臭)

項 目		測 定 結 果										規制基準	処 理 目 標 値	測 定 回 数
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期			
敷地境界	悪臭物質 【*1】	アンモニア (ppm)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1	1	2回/年 (夏,冬)	
		メチルメルカプタン(ppm)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	0.002		
		硫化水素 (ppm)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02	0.02		
		硫化メチル (ppm)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	0.01		
		二硫化メチル (ppm)	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009	0.009		
		トリメチルアミン (ppm)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005	0.005		
	アセトアルデヒド (ppm)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	0.05			
	臭気指数【*3】	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	15	10			
気体排出口	臭気指数	焼却炉煙突	—【*2】				—【*2】				30	25	4回/年 (夏3,冬1)	
		焼却処理室脱臭装置出口	—【*2】				—【*2】							
		本館棟脱臭装置出口	上半期	(7月) <12 (8月) <12 (9月) <12	下半期	(1月) <12								
		排水処理室脱臭装置出口	(7月) <12 (8月) 17 (9月) 14	(1月) <12										

*1 悪臭物質(7項目)の測定結果(8月・1月に測定)は、全て測定限界以下。

*2 焼却炉煙突・焼却処理室脱臭装置出口の臭気指数：26年度は焼却炉の稼働を一時停止したため、測定せず。

*3 臭気指数とは

①人の嗅覚を利用した官能検査によって、臭いの程度を数値化したもの(具体的には、人が臭いを感じなくなるまで臭気物質を薄めたときの倍率を用いて計算する)。

②未知の物質や複合臭(複数の臭いが混じると相加・相乗効果が起こる場合がある)等、機械では測定できないものにも対応が可能。

③人の感覚に近く、総合的に評価できる。臭気指数20は臭気指数10に比べ、臭いが2倍程強い(臭気物質の濃度は10倍濃い)。

④臭気指数の目安

臭気指数	10	15	20	25	30	35	45
具体例	梅の花	化粧品売場 ・道路沿道	トイレ芳香剤・ 花火の煙・ジン チョウゲの花	しょう油・線香	ガソリン・ タバコの煙	コーヒー	ニンニク炒め

南部市場環境モニタリング結果（平成26年度）

その3（騒音・振動）

項 目			測 定 結 果										規制基準 (数値以下)	処理目標値 (数値以下)	測定回数														
			東側		西側		南側		北側		東側					西側													
騒 音 (dB)	敷 地 境 界	朝 【*1】	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	朝, 昼間, 夕 75 夜間 70	朝, 昼間, 夕 50 夜間 50	2 回/年 (夏・冬)												
			【*3】	夜間 【*1】	69	68	69	67	67	67	66	67	56	54				57	56	61	62	57	57	57	57	62	61	64	66
振 動 (dB)	敷 地 境 界	昼間 【*2】	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	昼間 75 夜間 70	昼間 65 夜間 55	2 回/年 (夏・冬)												
			【*3】	夜間 【*2】	38	37	34	33	32	32	31	30	36	35				32	31	44	44	36	35						

*1 朝；6～8時、昼間；8～19時、夕；19～22時、夜間；22時～6時（表中の数値は、時間率騒音レベルL 5相当値）

*2 昼間；7～20時、夜間；20～7時（表中の数値は、時間率振動レベルL 1 0相当値）

*3 騒音の測定・分析機関による評価の概要

【26年度上半期】9月25日～26日測定

東側；主な音源は車の通行音(全日)・虫の鳴き声(朝・夕・夜間)であり、これらの影響を除いた場合、南部市場の施設稼働音は処理目標値を満足していると推測される。

西側；主な音源は車の通行音・虫の鳴き声(全日)・近隣工場音(昼間・夕)であり、これらの影響を除いた場合、南部市場の施設稼働音は処理目標値を満足していると推測される。

南側；主な音源は車の通行音(全日)・虫の鳴き声(朝・夕・夜間)であり、これらの影響を除いた場合、南部市場の施設稼働音は処理目標値を満足していると推測される。

北側；主な音源は車の通行音・近隣工場音・虫の鳴き声であり、これらの影響を除いた場合、南部市場の施設稼働音は処理目標値を満足していると推測される。

【26年度下半期】12月18日～19日測定

東側；主な音源は車の通行音(全日)・鳥の鳴き声(朝)・川の音(夕・夜間)であり、これらの影響を除いた場合、南部市場の施設稼働音は処理目標値を満足していると推測される。

西側；主な音源は車の通行音(全日)・鳥の鳴き声(朝・昼)であり、これらの影響を除いた場合、南部市場の施設稼働音は処理目標値を満足していると推測される。

南側；主な音源は車の通行音(全日)・鳥の鳴き声(朝)・車のアイドリング音(夕)であり、これらの影響を除いた場合、南部市場の施設稼働音は処理目標値を満足していると推測される。

北側；主な音源は車の通行音(全日)・鳥の鳴き声・チャイムの音(朝)であり、これらの影響を除いた場合、南部市場の施設稼働音は処理目標値を満足していると推測される。

南部市場環境モニタリング結果（平成26年度）

その4（水質）

項 目		測 定 結 果												規 制 基 準	処 理 目 標	測 定 回 数		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
水	市 場 排 水 口	COD【化学的酸素要求量】 (mg/l)	3.2	1.4	1.8	2.6	2.5	4.9	3.2	1.8	1.9	2.1	1.6	1.8	25	10	毎 月 1 回	
		SS【浮遊物質量】 (mg/l)	<1						<1						30	4		
		ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/l)	<0.5						<0.5						10	1		
		T-N【総窒素量】 (mg/l)	1.4	<0.6	0.6	1.6	<0.6	0.8	0.6	2.1	2.2	2.7	2.5	1.6	20	10		
		T-P【総リン量】 (mg/l)	<0.06			0.08	0.09	<0.06	<0.06			0.14	<0.06			3		1
		pH【水素イオン濃度】	7.4	7.8	7.6		7.5	7.8	7.6			7.5	7.6	7.4	5.0 ~9.0	6.0 ~8.5		
水	質	COD【化学的 酸素要求量】 (kg/日)	平 均	2.2		2.6	3.3	2.6	2.8	2.7	2.0	2.2	2.2	2.5	2.1	42	—	常 時 測 定
			最 小 値	0.0	1.5	0.0	1.4	0.0	1.9	1.3		0.6	0.1	1.2	0.7			
			最 大 値	3.1	3.0	3.8	4.4	5.1	3.7	3.7	2.7	3.0	3.4	3.6	2.9			
		T-N【総窒素】 (kg/日)	平 均	1.2	0.6	0.9	1.3	0.8	0.8	0.7	1.5	2.1	2.8	2.6	1.9	33.6	—	
			最 小 値	0.0	0.2	0.0	0.8	0.0	0.2	0.3	0.7	0.7	0.1	1.3	0.4			
			最 大 値	2.1	1.1	1.4	2.3		2.5	2.0	3.2	4.0	7.8	4.9	6.4			
		T-P【総リン】 (kg/日)	平 均	0.05	0.03	0.02	0.04	0.08	0.05	0.03	0.02		0.15	0.07	0.03	5.04	—	
			最 小 値	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.03	0.01		0.00		0.03	0.01			
			最 大 値	0.10	0.04		0.10	0.24	0.31	0.07	0.04	0.05	0.74	0.17	0.04			